

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第56巻第2号をお届けいたします。本号では、原著3編、資料1編と連載を掲載しております。原著の2つは、介護に関する論文です。いうまでもないことですが、超高齢化社会をむかえた我が国において、福祉・介護は非常に重要な課題です。どちらの論文も介護者の健康状態に焦点を当てた論文ですが、その役割・仕事の重要性・大変さをあらためて認識させられます。介護者を取り巻く様々な厳しい環境が少しでも良くなるための活動・支援・政策にまで結びつけることができればと思います。もう一つの原著は、医療資源と死亡との関連を検討した地域相関研究ですが、バラツキの少ない標準化死亡比を求めるために経験ベイズ法と呼ばれる統計手法を用いています。対象者数やイベント数が少ない状況では、たまたまの影響で結果が不安定になることが多く、経験ベイズ法はそのような場面で安定した推定結果を与える有用な方法です。今後、様々な公衆衛生学の分野で利用していくべき方法だと思われま

(松山 裕)

次号予告 (第56巻・第3号)

原 著

小学生児童の歯と生活習慣により作成した要保護児童のスクリーニング指数試案…森田一三, 他
都市部常勤女性と専業主婦別にみた生活満足感と関連する要因の共分散構造分析……高 燕, 他

公衆衛生活動報告

徳島県における多機関連携による小児の生活習慣病予防活動……………勢井雅子, 他
位置情報記録式GPS装置と心拍数記録装置を用いた高齢者のウォーキング指導の提案
……………高石鉄雄, 他

連 載

運動・身体活動と公衆衛生(19)……………田畑 泉
わが国の結核対策の現状と課題(7)……………小林典子